

📌 はじめに

地域とともに子どもを育む学校へ

枚方市では「地域全体で子どもを育てていこう!」という思いを込めて、教育委員会が各学校に学校運営協議会を設置しており、令和元年から3年の間に市立小学校全44校に設置されました。学校運営協議会では、保護者や地域住民が校長先生や教頭先生と、教育活動や学校への必要な支援、子ども達の現状について話し合っ“地域とともにある学校づくり”を推進しており、学校運営協議会を設置している学校がコミュニティ・スクールとよばれています。このお手紙では会議の内容から、保護者のみなさんが気になるようなことを厳選してご紹介します。

📌 第三回学校運営協議会ではどんなことを話したの？

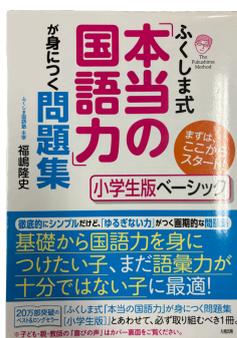
みんなで支えよう子どもたちの学び

- 学力調査の結果を基とした子どもたちの学力向上に向けた取り組みや、学校運営の進捗状況と課題についての話し合い
- 校内視察 各クラスの様子やトイレの状態を確認
- 性教育について
 - ・12月25日(水)五常小学校内で学校・地域・保護者対象の講演会を開催予定
 - ・学校運営協議会内に「保健人権部会」を新たに設立することが決定。
保健人権部会
性教育をはじめ、健康や人権に関わるさまざまな課題に取り組む予定
保護者や地域の皆さまと協力し、子どもたちを支える環境づくりを目指す
 - ・来年度(2025年度)、枚方市教育委員会と連携し、性教育に関する講演会の開催も計画中

📌 令和6年全国学力調査について

五常小の学力成果と次に目指す力

4月に行われた全国学力調査では、五常小の国語と算数の成績が全国平均を大きく上回り、素晴らしい結果を残しました!しかし、一部の子どもたちは「自分の考えを文章にするのが難しい」と感じることもあったようです。この課題を克服するために注目したいのが「読解力」です。そこで、校長先生がおすすめる福嶋隆史著『ふくしま式』をご紹介します!この本は、読解力を伸ばすための具体的な方法がわかりやすく解説されており、委員の中には、お子さんが高校時代にこの本を使い、大きな成果を感じたという声もありました。家庭学習にも取り入れやすい一冊なので、ぜひ手に取ってみてください!



保護者の
皆さんへ

学校運営協議会だより3

第三号では、十一月に開催された、第三回会議の内容をお伝えします。



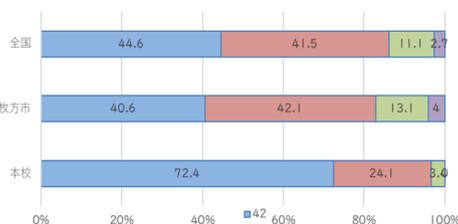
会議で話し合われた内容の中から、特に保護者の皆さんが知りたいと思うポイントをまとめてお伝えします。

ICTの活用について

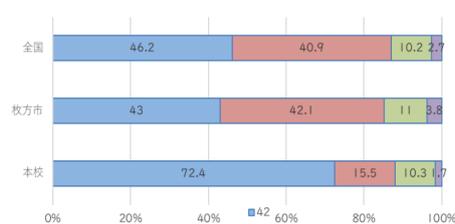
タブレットを使いこなす五常っ子

五常小ではタブレットを授業で活用する機会がとても多いです。低学年のうちから筆記用具のようにスラスラ使える事を目指しています。アンケートではICTの活用によって「友達の意見を見たり、一緒に協力して学習を進められる」というポジティブな回答が多かったです。

タブレットなどのICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる



タブレットなどのICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる



校内視察

体育館の再開

エアコン設置工事が終わり、11月21日から体育館の利用が再開されました！年始にはエアコンの稼働が予定されており、暑い時期の熱中症対策として期待されています。



トイレ

高学年・低学年ともに、前年度と比べてトイレの使用状況は改善が見られましたが、男子トイレでは便座の上から排尿するケースが引き続き確認されています。また、女子トイレでは床にトイレットペーパーのくずが多く散らばっている状況が見受けられました。さらに、4・5年生の男子トイレでは小便器個室でのいたずらが相次ぎ、現在は扉を閉じられないよう固定されています。



【男の子のご家庭へ】

五常小では、トイレの洋式便器は男女ともに座って使用することがルールです。立ってする場合は小便器を使用するようになっています。ご家庭でも、座って使用する練習をしてみてください。

【女の子のご家庭へ】

現在、トイレットペーパーの切れ端が床に落ちていることが多く見られます。学校で使用しているペーパーは切れやすいため、千切れてしまった場合にどうすればよいか、お子さまと話し合って共に考えていただくと助かります。



会議で話し合われた内容の中から、特に保護者の皆さんが知りたいと思うポイントをまとめてお伝えします。

📌 自己決定できる子ども主体の学びの実現

自ら学ぶ力を育む

五常小では、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進めており、子どもたちが自分で学習の進め方を調整できる「令和の日本型教育」を目指しています。「学び」をもっと自由に柔軟なものにし、子どもたちが「何を学びたいか」「どう進めたいか」を自分で考え、選び、決められる機会を増やすことを大切にしています。



このような取り組みにより、子どもたちは自分のペースで学びを進める力や、友達と協力しながら学ぶ力を育んでいきます。

📌 抜き打ち消防訓練

とっさの判断力を養う訓練

先日、会議のあった日に、子どもたちと教職員を対象に抜き打ちの火災訓練が実施されました。なんと教職員にも事前に日程をお伝えせず、秘密だったそうです。

訓練の様子を見ていると…火災ベルが鳴ると、子どもたちはすぐに教室を離れ、落ち着いて避難する姿が見られました。

「とっさの判断ができる五常っ子」すばらしいです！

この訓練をきっかけに、ご家庭でも「避難時にどう動くべきか」をお子さまと話し合ってみてください。日常の中で防災意識を高める良い機会となれば幸いです。



📌 牛乳パックの直飲み

ストローなしへ

かねてより話題となっていたプラスチック削減の取り組みとして、牛乳パックからの直飲みが始まっています。

家庭ではあまり見られない行動なので、うまく飲めるのか心配されましたが、ほとんどの児童が問題なく対応できているようです。

一方で、アレルギー対応の児童の周りでこぼれた場合などについては心配の声もあり、今回のご意見をもとに、学校でも引き続き対応策を検討していくとのことです。



性教育講習会のご案内

ありのままの自分が好きになる いのちのおはなし

12月25日（水）に、学校・地域・保護者を対象とした講演会を開催します。詳しいご案内は、後日学校よりお知らせいたします。

日時：令和6年12月25日（水） 10:00～12:00

場所：五常小学校 音楽室

講師：「じょさんしの杜 ふわり」

対象：学校教職員、保護者、地域住民

定員：60名

保健人権部会 創設へ

五常小学校から広がる安心の環境づくり

最近では、タブレットやスマートフォンを使う子どもが増えたことで、SNSのトラブルに巻き込まれたり、性被害者や加害者になるリスクが高まっています。

こうした問題を防ぐため、五常小学校では、子どもたちが正しい性の知識を身につけられる環境を整え、保護者や先生、地域の皆さんと一緒に性教育を理解し深めていくことを目指しています。

そこで、学校・保護者・地域が協力して、子どもたちの安全を守り、安心して成長できる体制を作るために、学校運営協議会内に保健人権部会を新たに設立することになりました。

保護者の皆さまのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

保健人権部会の目的

- 学校・保護者・地域が連携を強化し、子どもたちに適切なサポートを行えるようにする。
- 児童・生徒の健康と安全を支える活動を推進する。
- 人権教育を通じて多様性を尊重し、思いやりのある学校環境を作る。



主な活動内容

- ・ 12/25性教育講演会開催
- ・ 講演会前後の保護者アンケート実施、とりまとめ
- ・ 学校での児童対象の保健授業の見学と保護者へのお手紙発出
- ・ 地域と学校との連携した性教育講演会の運営
- ・ 他校への視察 等

保健人権部会、メンバー募集中！

保健人権部会では、子どもたちの健やかな成長を支えるため、保護者や地域の皆さまとともにさまざまな活動を進めていきます。

参加をご希望の方やご興味のある方は、ぜひお気軽にお申し込みください。

皆さまのご参加をお待ちしております！

※詳しくは、追って発行される「保健人権部会部会員募集要項」へ



会議で話し合われた内容の中から、特に保護者の皆さんが知りたいと思うポイントをまとめてお伝えします。

枚方市教育委員会とのタイアップ

教育委員会との協力でさらなる一歩

今回の学校運営協議会会議に、教育委員会の方が視察に来られました。その中で、学校運営協議会の性教育の取り組みに対し大変心強い応援の言葉をいただきました。

さらに、来年度に枚方市教育委員会が実施予定の“思春期のこころのケア”講演会を、五常小学校とタイアップして開催しないかというご提案をいただきました。

この講演会は、思春期の子どもたちが抱えるさまざまな問題について理解を深め、サポート体制を築くための重要な機会となるでしょう。

学校運営協議会と教育委員会が連携することで、保護者や地域の皆さまと共に、子どもたちの健やかな成長を支えるさらなる一歩を進めていきたいと考えています。

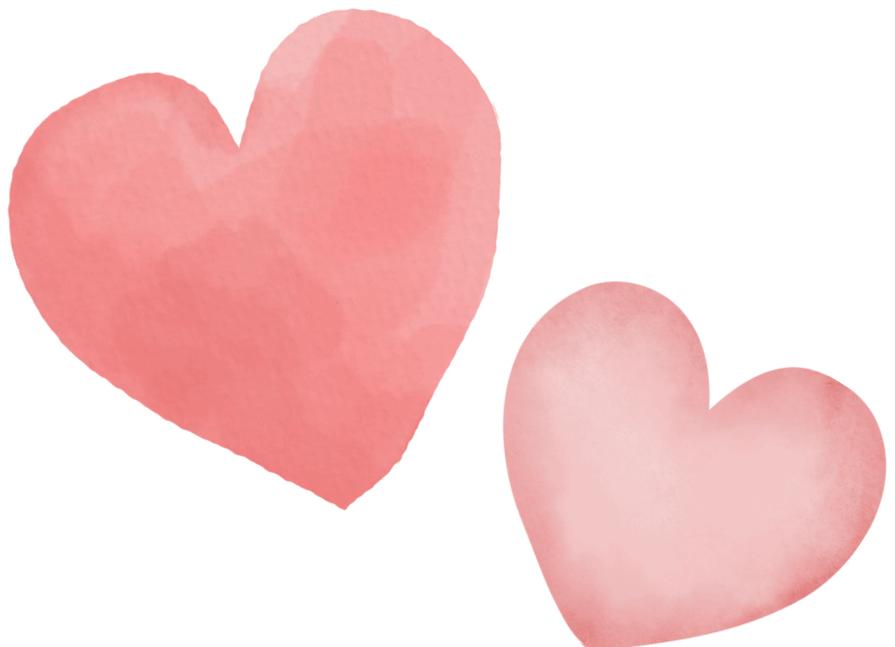
具体的な内容や日程については、今後調整を進めていく予定です。

委員からのメッセージ

ご意見おきかせください！

今後も私たち運営協議会委員からも皆さんの意見・質問を学校へ伝えていきます。委員を見かけたら、学校にメールするほどではないなと思うちょっとしたことでも話してみてくださいね。

会議で話し合われた内容の中から、特に保護者の皆さんが知りたいと思うポイントをまとめてお伝えします。



五常小学校は、保護者・地域の方々とともに包括的性教育（人権教育）を進めることで、子どもたちの健全な成長を地域社会全体で支えたいと考えています。

本校の教育目標は

「自ら学び、自他を尊重し、仲間と高め合える子ども」の育成です。

包括的性教育とは、子どもたちが自分自身や他者の身体と心について正しい知識を得て、自他を尊重する素地をつくること、つまり人権教育です。これを家庭や地域と連携して行うことで、学校だけでなく、日常生活全体で子どもたちを支える環境が整うと考えます。

誤解や偏見の解消を促します。

性に関することは誤解や偏見を生みやすいテーマです。包括的性教育について保護者や地域の方々に正しい情報を共有し、まずは大人が理解を深めることで、子どもたちに適切な価値観を伝えることができます。

家庭・地域社会との一貫性を確保します。

教育の内容が家庭と大きく異なったり、タブーがあったりすると、子どもたちの内心は混乱します。保護者（及び地域）と協力し、学校と家庭・地域が一貫したメッセージを伝えることで、子どもが安心して過ごせる環境がつけられます。

地域全体で理解と支援が広がります。

地域の方々と連携することで、学校教育だけでなく地域全体で子どもたちを支えるネットワークができます。例えば、地域の民生児童委員や福祉委員会、医療機関や他の児童福祉団体と協力することで、地域における子どもたちのさまざまな相談窓口を充実させることができます。

性犯罪やトラブルの未然防止になります。

包括的性教育は、子どもたちが自分を守るためのスキルを学ぶ場でもあります。保護者や地域と協力して取り組むことで、子どもたちにとってより安心・安全な環境が作られ、地域での性犯罪や広くトラブルの未然防止につなげることができます。

（例えば、昨今災害時避難所での理解不足による、（主に女性の）不都合や性被害について取り上げられるようになっていきます。）

多様性を尊重する社会の実現を目指します。

包括的性教育には、広く人権尊重の側面、例えばジェンダーや性的指向、性に関する価値観の多様性を理解する教育を含みます。地域社会全体で理解の促進をすることで、子どもたちが多様性を尊重する姿勢を身につけることができ、将来の持続可能で包摂的な社会づくりにつながります。

最後に

学校が包括的性教育を保護者・地域とともに進める意義は、子どもたちの健全な成長を関係する全員で支えることです。地域社会において、包摂的・寛容的で多様性を尊重する風土を育めば、地域全体で子どもたちを守ることができます。このような取り組みを一緒に行うことが、子どもたちの未来を豊かにし、地域社会の将来をより良いものへと変えることになると考えています。